



レンジフード 取付説明書

※裏面は型紙（原寸大）になっておりますので
あわせてご利用ください。

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
 - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものであります。また注意事項は、危険や損害の大さと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをする生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
 - △警告：**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 - △注意：**人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 - 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源コードをコンセントから抜いてください）が描かれています。
 - 絵表示の例

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
 - 100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
 - レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
 - 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
 - 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
 - メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板などが電気的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります
 - アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください
 - 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をするところ
排気ガスが室内に逆流し、一般化炭素中毒を引き起こすおそれがあります
 - 手袋をする

- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電する場合、発火するおそれがあります
 - 周囲温度が40°C以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
 - 連動中は、指や物を絶対に入れないことを確実にすること
落すことによるけがをするおそれがあります
 - 部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります
 - 作業は2人以上で行なうこと
レンジフードは約30kgの重さがあります

取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
 - ・大工事【設置のための下地工事等】
 - ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
 - ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
- 流通業者（販売店）を通じて粗立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「設立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
 - ・ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - ・施工後は、各メーカーの「標準施工技術指揮書」、「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものを使用ください。
調理機器はレンジフードの前面より手前に突出して設置しないでください。
調査性能が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けられるペントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m³/h時50Pa以下のものをご使用ください。
防音被覆きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気性能をいちじるしく低下させたり騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください。（自安：勾配1/100～1/50程度）。雨水の浸入や結露の逆流の原因になります。
- レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。なお、レンジフードの下端が調理機器の真上80cm以上に位置する場合は、油煙が捕集されませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- レンジフード取付面の補強部に、取付用座ねじが確実に届くことを確認してください。
本体の取付用座ねじは45mmの長さのものが同梱されていますが、壁下地にダクトが結露し、石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。
レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。
また、横方向50cm以上離して取り付けてください。
汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。
塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。
- 風量おまかせ運転（風量自動切替）機能を正しくお使いいただきために、別紙に記載の方法で必ず環境設定をおこなってください。
- 製品仕様を改変してご使用は絶対におやめください。
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります

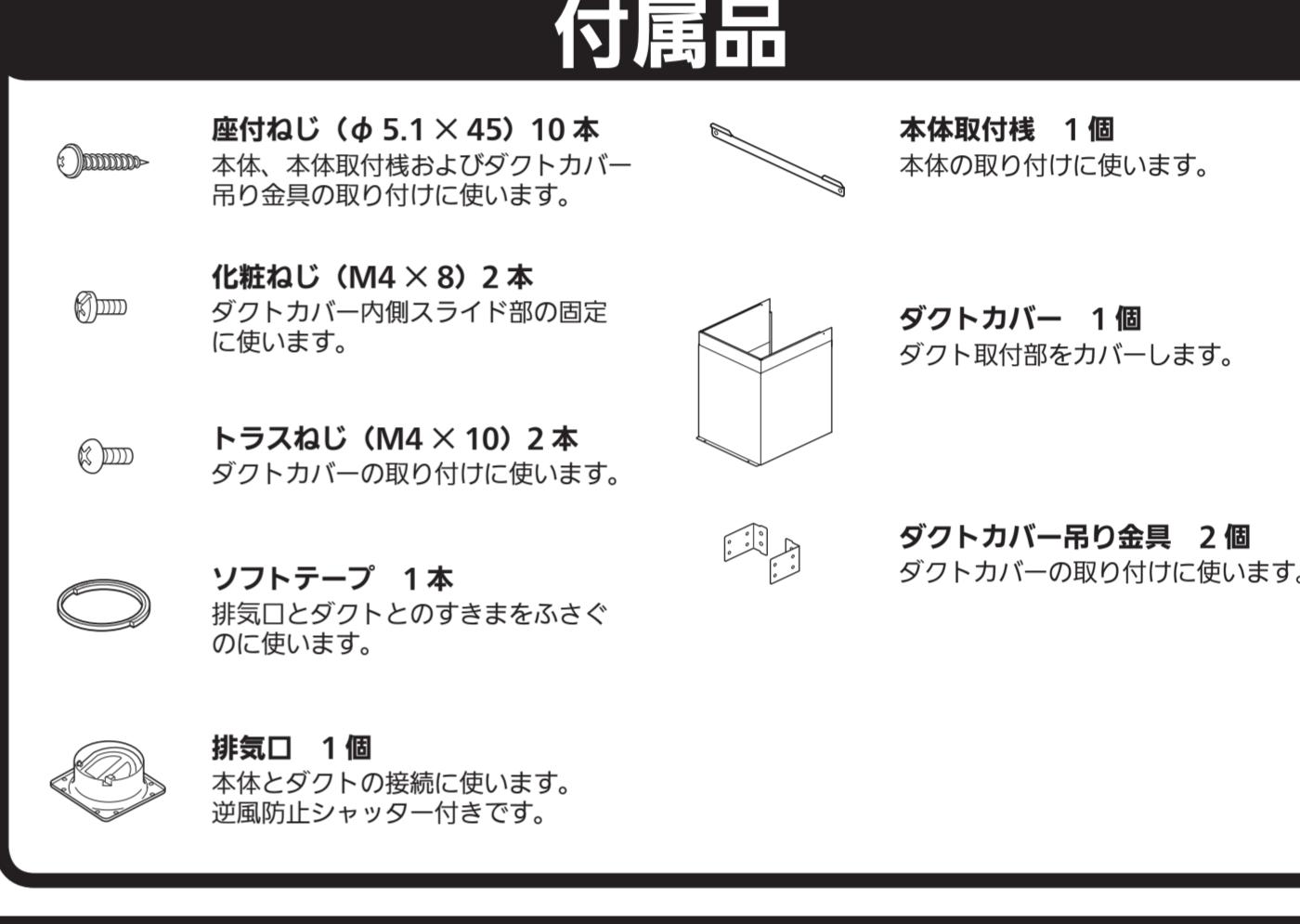
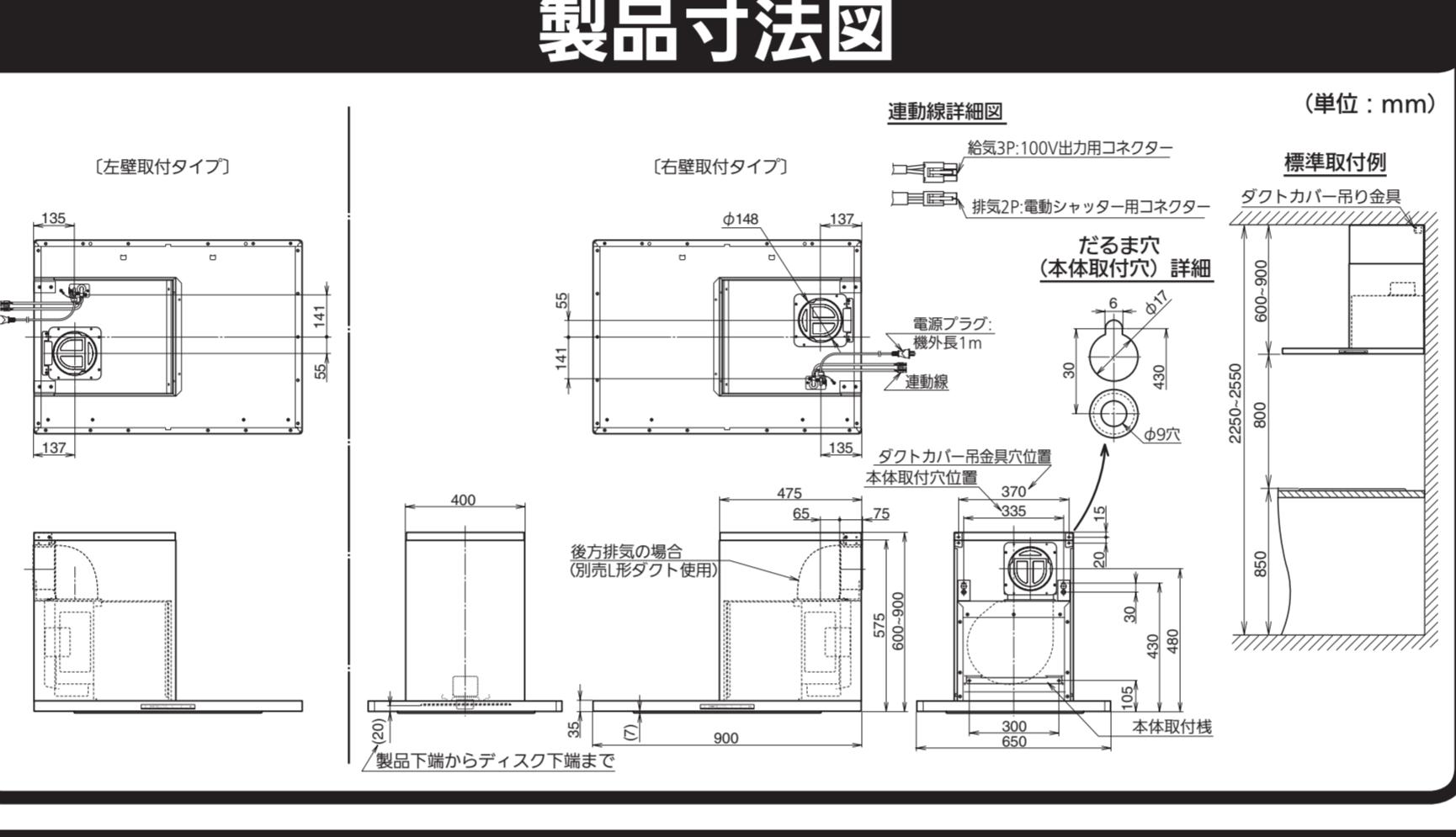
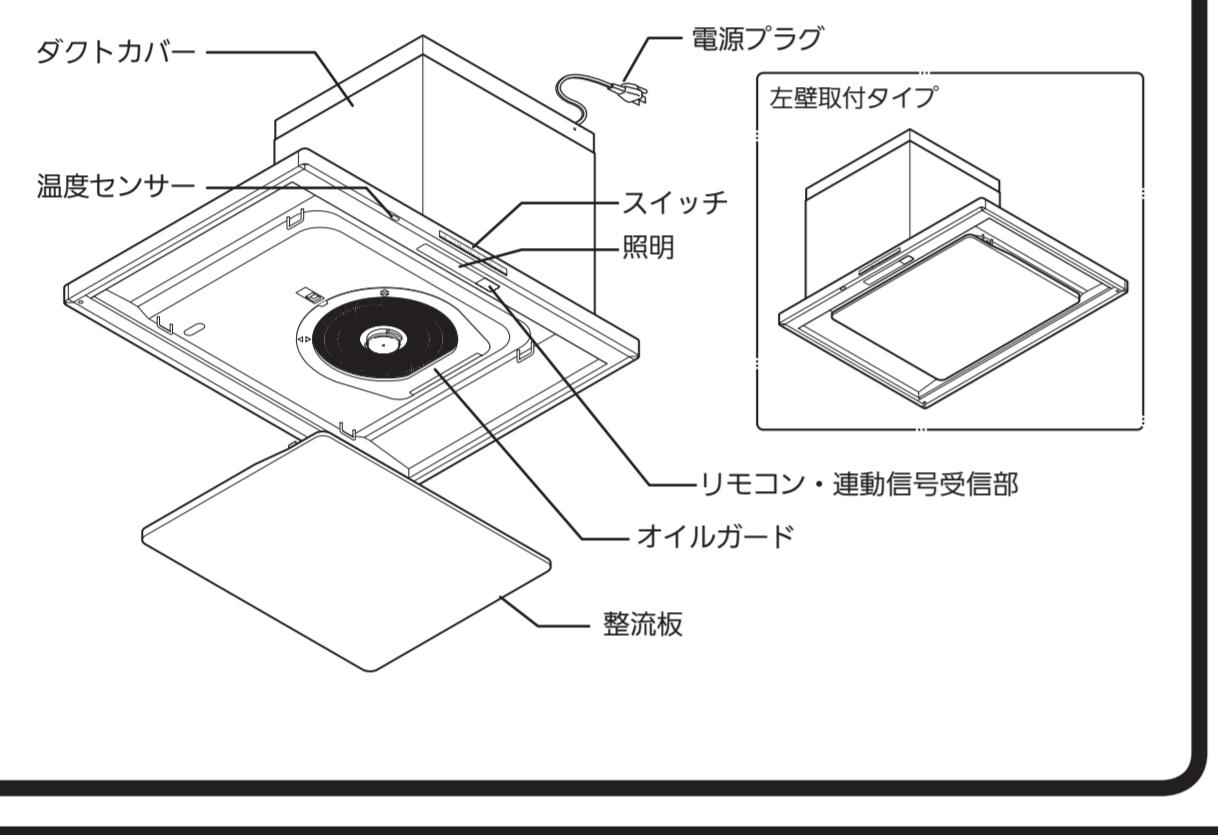
取り付け前の調査と準備

- 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm³程度の空気取入口を設けてください。
 - 寒い地域ではダクトが結露しレンジフード内で結露水が漏れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
 - レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
 - レンジフードの取付面の際は、壁スイッチを使用しないでください。
レンジフードの通電が遮断されると、お手入れ時間の表示（お手入れランプ）を正しくお知らせできなくなります。
 - 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります
 - レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
 - レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
 - レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
 - 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
 - お手入れランプの表示（お手入れ時間）を正しくお知らせできなくなります。
 - レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落すことによるけがをするおそれがあります

- 土壁の場合
柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。
 - 2 別売品の準備
排気工事に応じた別売品の準備が事前に必要です。
 - 3 標準取付寸法
本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面から製品の下端まで80cm。
※火災予防条例では、グリスフィルター（ディスク）の下端が調理機器の上端80cm以上必要となっています。
 - 4 電源コンセント・ブレーカー
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相100V）
コンセントは、JIS C 8303 2級接合地極付差込接続器15A 125Vをご使用ください。

各部のなまえ



1. 付属品の確認

△ 注意

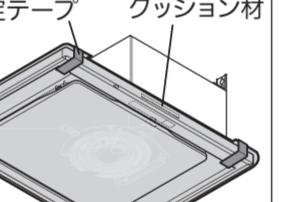
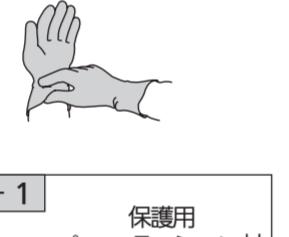
- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- 手袋をする

付属品を確認します。

梱包箱から付属品を取り出し、上頂の付属品一覧により不足がないか確認します。

お願い

- ・保護用のクッション材と固定テープはキズ、破損防止のため、『8. 固定テープの取りはずし』までは使用しないでください。（図1-1）
- ・床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・取り扱いの際はキズ、破損ないように十分注意してください。



■ 後方排気の場合（別売品のL形ダクトを使用する場合）（図3-2）

- 排気口に付属品のソフトテープを貼り、L形ダクトに取り付けます。
取り付け方向は、シャッターの開閉方向が下方になり、レンジフードを運転していないときはシャッターが閉じるように取り付けます。
排気口は、L形ダクトに付属している取付ねじ（M4×8）4本でL形ダクトに取り付けてください。

※ 本体への取り付けは、製品の取り付け後におこないます。（5. ダクトと排気用部品の接続）
参考）

お願い

L形ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して後方排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。
下図の「誤った接続例」の場合は、排気不良や異音の原因になります。



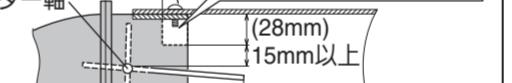
4 本体を固定します。（図4-3）

- 1 だるま穴の下の9穴（左右各1ヶ所）に付属品の座ねじ（φ5.1×45）をしっかりと締め付けます（①）。
- 2 だるま穴の座ねじ（φ5.1×45）をしっかりと締め付けます（②）。

5. ダクトと排気用部品の接続

お願い

- ドリリングタッピングねじなど排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらぬないように、図のドリリングタッピングねじ使用範囲内に固定してください。（図5-1）



■ 上方排気の場合

ダクトと排気口の接続部に風漏れ防止のテープ（アルミテープ）をおこないます。（図5-2）

■ 後方排気の場合（別売のL形ダクトを使用する場合）

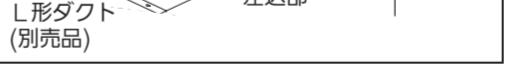
- 1 排気口を取り付けます。（図5-3）
本体排気口付近位置に取り付いている取付ねじ2本をはずした後、L形ダクトを本体の差込部に差し込みながら、排気口をダクトに貼り付けてください。



- 2 風漏れ防止のテープ（アルミテープ）をおこないます。（図5-3）



- 排気口設面の漏風確認のお願い（図5-4）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設面（フード天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。試運転（強制運転）をおこなってください。



- 漏風確認のために、ダクトと接続後は試運転（強制運転）をおこなってください。



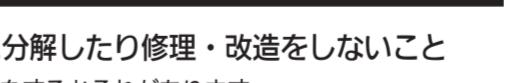
- 漏風する場合は、排気口と設面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



- 排気口設面の漏風確認のお願い（図5-4）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設面（フード天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。試運転（強制運転）をおこなってください。



- 漏風する場合は、排気口と設面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



- 排気口設面の漏風確認のお願い（図5-4）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設面（フード天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。試運転（強制運転）をおこなってください。



- 漏風する場合は、排気口と設面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



- 排気口設面の漏風確認のお願い（図5-4）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設面（フード天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。試運転（強制運転）をおこなってください。



- 漏風する場合は、排気口と設面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



- 排気口設面の漏風確認のお願い（図5-4）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設面（フード天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。試運転（強制運転）をおこなってください。



- 漏風する場合は、排気口と設面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



- 排気口設面の漏風確認のお願い（図5-4）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設面（フード天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。試運転（強制運転）をおこなってください。



- 漏風する場合は、排気口と設面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。

- 排気口設面の漏風確認のお願い（図5-4）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設面（フード天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。試運転（強制運転）をおこなってください。

- 漏風する場合は、排気口と設面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。

- 排気口設面の漏風確認のお願い（図5-4）
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続

原寸大型紙 (寸法単位は mm)

お願い
この型紙は湿気の影響で 2~3mm 誤差が生ずることがあります。
寸法をお確かめの上ご使用ください。

※表面は取付説明書になっています。よくお読みになり正しく取り付けをおこなってください。

天井高さにより、ダクトカバー
吊り金具の取付高さが異なります。

